

SKI CLASSIC

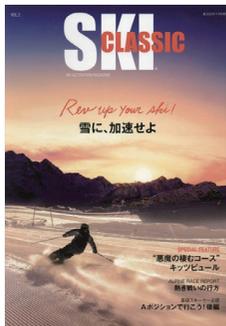
SKI ACTIVATION
MAGAZINE

vol.3 2023 winter, vol.4 2024 winter

大人世代へ向けて、
スキースポーツの楽しみ方を、
さまざまな角度から追求するスキー情報誌として、
昨シーズン創刊した『SKI CLASSIC』は、
今シーズンも11月と1月に発行いたします！



2022 VOL.1



2023 VOL.2



SKI CLASSIC

SKI ACTIVATION
MAGAZINE

vol.3 2023 autumn, vol.4 2023 winter

スキー人口の減少が言われて久しい昨今の現状…。
その昔、1シーズンに4回スキーに行っていた人が、
今は、0か1回しか行っていないという結果の数字です。
『SKI CLASSIC』は、「0のヒト、まずは1回出かけよう！」
重い腰を後押しする楽しさを満載した情報をお届けします。
『SKI CLASSIC』の「Classic」とは「一流」、
そして「流行りすたりのない本質」であり
「未来に通じる王道」を示すものです。

コアなスキーファン、そして
スキーから離れていた方々に向け
「スキーってやっぱり最高に楽しい！」
とあっていただけるような
企画をお届けできたらと考えています。



主なコンテンツ(予定)

スキーがもっと楽しくなる!

海和俊宏とENJOY RACE

なんてことのない斜面でも

ポールセットがあるだけでこんなに楽しい!

硬い中斜面をカービングターンで飛ばすのも楽しいけれど、同じことばかりでは飽きませんか?

緩い斜面に入ると途端に楽しみは半減。しかし緩い斜面でも、もしそこに簡単なポールセットさえあれば、俄然楽しい遊び場になります。

レース未経験者のための「海和俊宏の誌上ポールレッスン」。われらの海和俊宏が、レースの初歩から楽しさをお教えします。



今求められるスキー技術の真髄

王道、 オーストリアスキーメソッド

リッチー・ベルガーの示す道

ネット上であらゆるパターンの情報が駆け巡る今日、そこから“気づき”として得られるものは、本来どのレベルの、そしてどの体系の話でしょうか? 限られた状況のヒントの体積ではなく、全体を俯瞰し、立ち位置を明確にすることが必要です。

アルペン強国が持つ最新の情報を加味しつつ、基本の理論の体系をバックボーンとしてしっかり持つ。

とくに指導者は、もう一度初心者からのレッスンの再構築をしてみませんか。

オーストリアスキー国立スキー学校(ブンデススポーツハイム)の最も輝いていた時代、最も将来を囑望されていたリッチー・ベルガー。今こそ彼に真髄を聞きましょう。



エビデンスとスキー技術

科学者(研究者)と現場コーチの対話

情報医科学研究所・石毛勇介ら

日本の最先端スキー科学者が集結



長い間そして現在も、日本のスキー技術指導は感覚、経験論の延長にいます。一番の始まりから、「スキーの上手い人=良いコーチ」だったからです。その隙間を埋めるために、そろそろアクションが必要ではないでしょうか?

石毛勇介(情報医科学研究所)を中心に、吉岡伸輔(東京大学)、中里浩介(北見工大)、菊池真也(S&Cコーチ)ら科学者と現場のアルペンコーチ河野恭介らとの対話作業を通じて、「何がわかっていて、何がわかっていないのか」——この企画は科学者と現場コーチの共通認識を確認する、という本邦初の刺激的な作業です。

レーサー必読!

スキーを走らせるために必要なこと

トップコーチ・河野恭介が解説

「雪面を落下していくスキーをいかにコントロールするか」基礎スキー技術の目的はここにあります。ではレーサーの技術の目的は何でしょうか? スキーのコントロール、とくにターン後半に「両者の違いとヒント」がありそうです。トップアルペンコーチ河野恭介が自身とリッチー・ベルガーをモデルに展開していく「スキーの走らせ方のヒント」。



付度なしで試してみました!

ギア選び【スキーブーツ編】

メーカー色に染まらずに読者目線で



スキー場でスキーブーツを履くときに、頭の血管が切れそうになった経験はありませんか? 「血管切れる」は冗談としても、本当に着脱に手間がかかるのがスキーブーツです。しかも、上級者向けのホルドの良いスキーブーツほど着脱の困難さは比例します。そこで試してみました。リアエントリー&着脱重視の観点から見たスキーブーツ選びです。

このほか、スキーリゾート、インタビュー、ファッション、エクササイズ&コンディショニングなど、さまざまな角度からスキースポーツの楽しさを探り、「スキーに行きたくなる」情報をお届けします。

Advertisement

広告掲載料金【雑誌媒体】

スペース	料金(円)	寸法(ミリ) 天地×左右
表4 4色1P	1,200,000	266×200
表2 4色見開片観音	3,000,000	297×630
表2 4色見開	2,000,000	297×420
表3 4色1P	800,000	297×210
目次対向 4色1P	800,000	297×210
4色1P	500,000	297×210
1色1P	300,000	297×210
【編集タイアップ】		
4色1P	500,000	

※WEBサイトの広告料金未定



SKI CLASSIC

SKI ACTIVATION
MAGAZINE

年2回発行
VOL.3 2023年11月6日発刊予定
VOL.4 2024年1月24日発刊予定

A4版平綴じ 120P
予価1320円(税込)
印刷 4Cオフセット
発行部数 各10,000部

制作:スキークラシック編集部 TEL 0798-33-1636
(有)リリクス 〒662-0964 兵庫県西宮市弓場町9-16

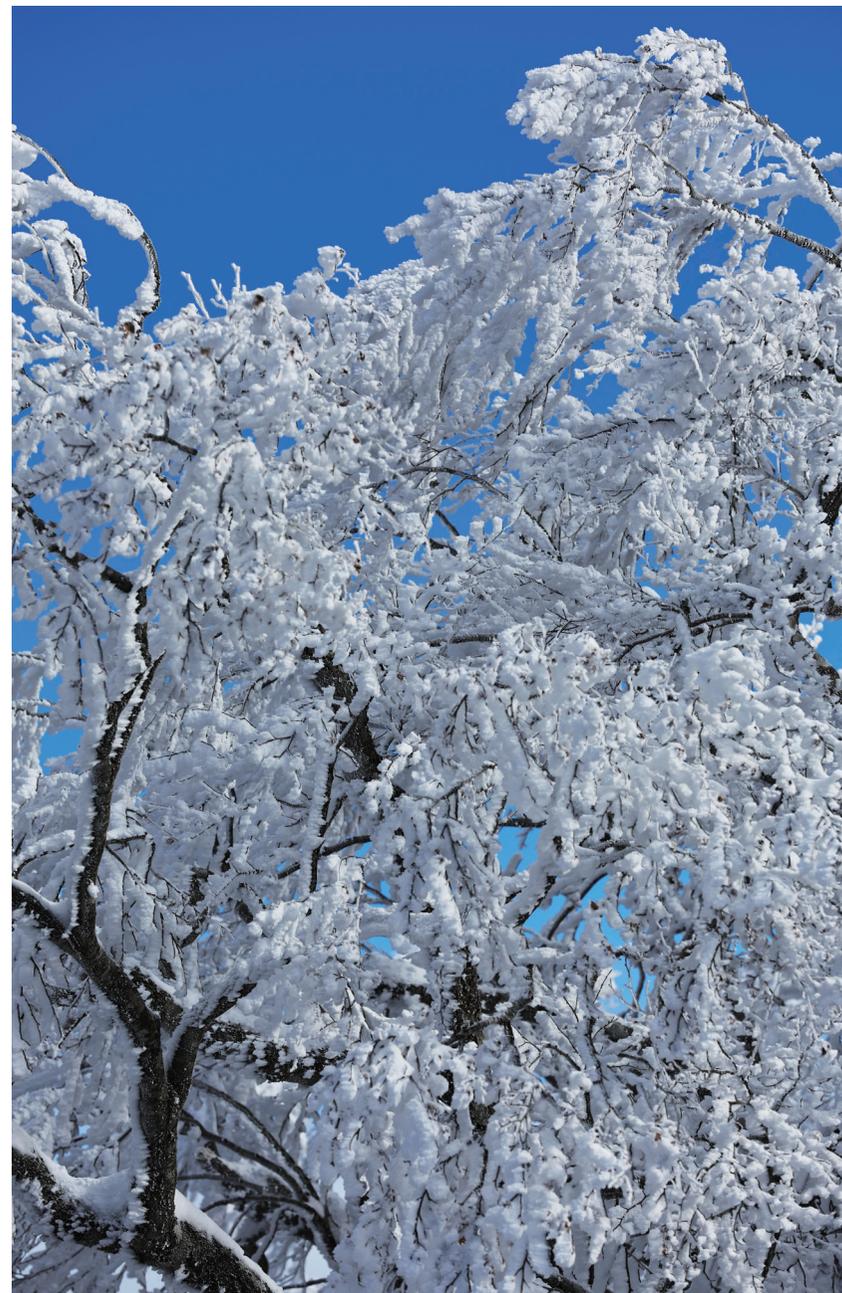
販売:株式会社 芸術新聞社
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-3-12 神田小川町ビル7階
広告掲載についてのお問い合わせ: editors@ski-classic.com



We respond to requests

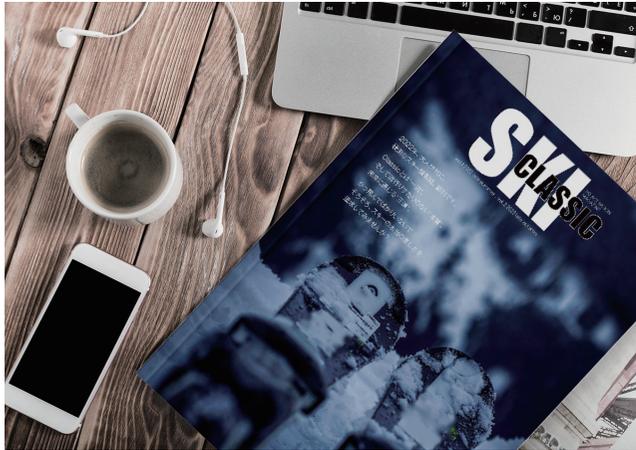
こんなスキーマーの声にお応えします。

- 日本のスキーの魅力(温泉+食事+雪)や自分の滑りたいスキーを叶えてくれる道具を知りたいです。
(東京都 60代 男性)
- 研修会で技術を習っても、これで本当に上手くなれるの? と思っています。
(埼玉県 40代 女性)
- 上手い人たちの着こなしを知りたい。ウェア単品ではなく、インナーなどの組み合わせ。
(埼玉県 50代 男性)
- 最近のスキー教程が面白くない。教程が変わっても技術の部分だけを取り上げていくことにはずっと違和感を感じていました。
(東京都 40代 男性)



DIGITAL MARKETING

SKI CLASSIC のコンテンツやネットワークを使った
360度包囲のメディア



SKI CLASSIC Digital Launch!
本誌と連動しながら、
オリジナルの連載企画も発信予定です

